



第29回

日本末梢神経学会学術集会

～あしたの末梢神経学～

プログラム・抄録集



会期:2018年9月7日[金]-8日[土]

会場:海峡メッセ下関 〒750-0018 山口県下関市豊前田町3丁目3-1

会長:神田 隆 山口大学大学院医学系研究科神経内科学講座 教授

<http://www.congre.co.jp/jpns29/>

The 29th Annual Meeting of the Japanese Peripheral Nerve Society

第 29 回日本末梢神経学会学術集会 プログラム・抄録

目 次

開催にあたって.....	3
交通案内図.....	4
会場案内図.....	5
お知らせ.....	6
日程表.....	12
プログラム.....	14
特別企画.....	14
一般演題（口演）.....	20
一般演題（ポスター）.....	27
抄 録	
特別企画	
招待講演.....	33
特別講演.....	35
教育講演.....	36
シンポジウム.....	41
産業医学講座.....	61
メディカルスタッフ・レジデント実技セミナー.....	62
ランチョンセミナー.....	65
イブニングセミナー.....	70
一般演題（口演）.....	77
一般演題（ポスター）.....	115
演者索引.....	141
歴代会長、次期開催のご案内.....	147
市民公開講座のご案内.....	巻末



第29回日本末梢神経学会学術集会の開催にあたって

第29回日本末梢神経学会学術集会

会長 **神田 隆**

山口大学大学院医学系研究科 神経内科学講座 教授

第29回日本末梢神経学会学術集会を平成30年9月7日（金）8日（土）の2日間、山口県下関市で開催させていただくにあたり、皆様にご挨拶を申し上げます。

日本末梢神経学会は、末梢神経疾患のより良いマネジメント、より深い研究をめざして、神経内科、整形外科、リハビリテーション科、産業医学、神経科学など幅広い分野の専門家が一堂に会して集学的に討論する、日本の学会では他に類を見ないユニークな特徴を持った学会です。第29回学術集会のテーマは「あしたの末梢神経学」としました。いささか漠然とした主題設定ですが、遠い未来を見つめながら昨日より今日、今日より明日と、足をしっかりと地面に据えて着実に進歩する末梢神経学をイメージしていただければ幸いです。末梢神経疾患克服の明日に向けて、多様な視点からの活発な論議を期待いたします。今回は一般演題110題を含む計150題のすばらしい演題を頂戴いたしました。招待講演には、フランスから末梢神経病理学の泰斗であるGérard Said教授、特別講演には、日本が誇る再生医療の第一人者である岡野栄之教授のお2人にご登壇いただく光栄を得ました。この他にも、教育講演3セッション、4つのシンポジウム、6つのランチョン/イブニングセミナー、産業医学講座など、魅力的なプログラムが完成しました。末梢神経疾患を理解するための基軸となる神経病理から、最先端の末梢神経再生治療までを俯瞰できるプログラムと自負しています。

私たち臨床家は、得てして神経内科、整形外科といった自らのテリトリーに籠りがちですが、本学会は他の臨床科との交流、臨床医学と基礎医学の交流が目的の一つです。山口県で本学術集会を開催させていただくのは初めてのこととなりますが、下関は幕末から明治維新にかけて、様々な異国の文物を受け入れる窓となった歴史を持つ街です。豊富な観光資源と食文化をお楽しみいただくとともに、異業種との遭遇を通じて、末梢神経疾患の克服のための「あした」に向けて、新しい視点が得られる場がここ下関で構築されることを願ってやみません。

日 程 表

2018年9月7日 (金)

	第1会場	第2会場	第3会場 ポスター会場1	ポスター会場2	企業展示
	10階 国際会議場	8階 801大会議室	9階 海峡ホール	8階 804会議室	10階 ロビー
8:00					
9:00	8:50~9:00 開会の挨拶 9:00~11:00 SY1-1~SY1-4 シンポジウム1 「血液末梢神経バリア」 座長：森原 聡 三上 容司 演者：清水 文崇 森原 聡 平田 仁 竹下 幸男	9:00~9:40 O-12~O-16 一般演題(口演)2 「手根管症候群」 座長：尼子 雅敏 9:40~10:20 O-17~O-21 一般演題(口演)3 「手根管症候群・肘部管症候群」 座長：藤原 浩芳 10:20~11:00 O-22~O-26 一般演題(口演)4 「絞扼性・外傷・その他」 座長：太田 壮一	9:00~11:00		9:00~19:10
10:00			ポスター貼付		
11:00	11:00~12:00 教育講演1 「腕神経叢麻痺治療の現況」 座長：池田 昭夫 演者：土井 一輝				
12:00	12:10~13:10 ランチョンセミナー1 「CIDPの診断と新しいIVIg療法」 座長：関口 兼司 演者：野寺 裕之 共催：一般社団法人日本血液製剤機構	12:10~13:10 ランチョンセミナー2 「手根管症候群に潜む疾患の鑑別と治療 (TTR-FAP: トランスサイレチン型家族性アミロイドポリニューロパチー)」 座長：安東由喜雄 演者：山下 太郎 共催：ファイザー株式会社			
13:00	13:20~14:20 招待講演 「Indications and Usefulness of Nerve Biopsy」 座長：神田 隆 演者：Gérard Said		ポスター掲示		企業展示
14:00	14:30~16:31 O-01~O-11 一般演題(口演)1 「学会賞候補演題」 座長：神田 隆 池田 和夫	14:30~15:18 O-27~O-32 一般演題(口演)5 「基礎研究」 座長：栗本 秀 15:18~15:58 O-33~O-37 一般演題(口演)6 「代謝性ニューロパチー」 座長：三澤 園子 15:58~16:22 O-38~O-41 一般演題(口演)7「その他のニューロパチー」 座長：宮本 勝一			
15:00					
16:00	16:40~17:40 教育講演2 「Pathogenesis and therapeutic strategies in CIDP」 座長：千葉 厚郎 演者：Bernd C. Kieseier		16:00~18:00 P-01~P-30 P-31~P-46 ポスタービューイング (質疑応答のみ) 16:00~17:00 演題番号：奇数 17:00~18:00 演題番号：偶数		
17:00					
18:00	18:10~19:10 イブニングセミナー1 「補体と重症筋無力症」 座長：楠 進 演者：川口 辰哉/今井 富裕 共催：アレクシオンファーマ合同会社	18:10~19:10 イブニングセミナー2 「末梢神経障害の鑑別のポイント〜CIDPを中心に〜」 座長：土井 一輝 演者：安藤 昌朗/海田 賢一 共催：CSL ベーリング株式会社			
19:00					
20:00			19:20~ 全員懇親会		

日程表

2018年9月8日 (土)

	第1会場	第2会場	第3会場	ポスター会場2	企業展示
	10階 国際会議場	8階 801大会議室	ポスター会場1	8階 804会議室	10階 ロビー
8:00					
9:00	9:00～11:00 SY2-1～SY2-6 シンポジウム2 「末梢神経損傷治療の課題と将来展望： 神経再生メカニズムの観点から」 座長：平田 仁／吉良 潤一 演者：木山 博資／新見 直子／ 鈴木 秀典／栗本 秀／ 林 礼人／服部 泰典	8:30～9:00 評議員会・総会 9:00～9:48 O-42～O-47 一般演題(口演) 8 「ギラン・バレー症候群」 座長：海田 賢一 9:48～10:20 O-48～O-51 一般演題(口演) 9 「CIDP/多巣性運動ニューロパチーなど」 座長：山崎 亮	9:00～10:00 産業医学講座 「障害就労者における神経調節系の課題 (障害就労工場産業医としての経験より)」 座長：松岡 雅人 演者：田島 文博 10:00～12:00 メディカルスタッフ・ レジデント実技セミナー 座長：桑原 聡 演者：幸原 伸夫 国分 則人 野寺 裕之 共催：日本光電工業株式会社	9:00～15:30	9:00～16:30
10:00					
11:00	11:00～12:00 特別講演 「iPS細胞と遺伝子改変霊長類を 用いた神経疾患の研究」 座長：楠 進 演者：岡野 栄之				
12:00					
12:10～13:10	12:10～13:10 ランチョンセミナー 3 「ギラン・バレー症候群の予後改善に向けて」 座長：清水 優子 演者：川本 未知／三澤 園子 共催：帝人ファーマ株式会社	12:10～13:10 ランチョンセミナー 4 「超微形態からみたニューロパチーの病態と治療 ～CIDPの最新の話題を含めて～」 座長：岡 伸幸 演者：小池 春樹 共催：日本製薬株式会社	ポスター掲示		企業展示
13:00					
13:20～14:50	13:20～14:50 SY3-1～SY3-5 シンポジウム3 「神経痛性筋萎縮症」 座長：加藤 博之／野村 恭一 演者：池田 修一／関口 兼司 澤田 智一／宮本 勝一 加藤 博之	13:20～14:20 教育講演3 「末梢神経疾患の新しい疾患概念」 座長：高嶋 博／金谷 文則 演者：緒方 英紀／中根 俊成 越智 健介	ポスター撤去		
14:00					
15:00	15:00～16:30 SY4-1～SY4-5 シンポジウム4 「痛みの臨床」 座長：小池 春樹／酒井 昭典 演者：鈴木千恵子／小池 春樹 上坂 義和／岩月 克之 井本 浩哉	14:30～15:02 O-52～O-55 一般演題(口演) 10 「アミロイドニューロパチー」 座長：関島 良樹 15:02～15:34 O-56～O-59 一般演題(口演) 11 「CMT」 座長：村上 龍文 15:34～16:06 O-60～O-63 一般演題(口演) 12 「電気生理・画像」 座長：国分 則人 16:06～16:30 O-64～O-66 一般演題(口演) 13 「手術」 座長：山本 真一			
16:00					
16:30～16:40	閉会の挨拶				
17:00					
18:00					
19:00					
20:00					

市民公開講座
「手足のしびれ」
日 時：9月9日(日) 10時～12時
会 場：海峡messe下関 10階 国際会議場
参加費：無料
※ 詳細は巻末をご覧ください。

市民公開講座 「手足のしびれ」

日 時：9月9日(日) 10時~12時
会 場：海峡メッセ下関 10階 国際会議場
参加費：無料

※ 詳細は巻末をご覧ください。

特別企画プログラム

2018年9月7日(金) 第1会場 10階 国際会議場

シンポジウム1 「血液末梢神経バリア」

9:00 ~ 11:00

座長：桑原 聡（千葉大学 神経内科学）
三上 容司（横浜労災病院 整形外科）

SY1-1 血液神経関門の概要とその細胞学的特性

清水 文崇（山口大学大学院医学系研究科 神経内科学）

SY1-2 免疫性ニューロパチーとBNB

桑原 聡（千葉大学大学院医学研究院 脳神経内科学）

SY1-3 整形外科領域の末梢神経障害におけるBlood Nerve Interfaceの役割

平田 仁（名古屋大学大学院 医学系研究科 手外科）

SY1-4 血液神経関門（BNB）の破綻をどのように修復するか

～ヒト由来BNB構成細胞株による*in vitro* BNB modelを用いた治療戦略～

竹下 幸男（山口大学大学院医学系研究科 神経内科学）

教育講演1

11:00 ~ 12:00

座長：池田 昭夫（京都大学 てんかん・運動異常生理学講座）

「腕神経叢麻痺治療の現況」

土井 一輝（小郡第一総合病院）

ランチョンセミナー1

12:10 ~ 13:10

座長：関口 兼司（神戸大学 神経内科学分野）

LS1 「CIDPの診断と新しいIVIg療法」

野寺 裕之（徳島大学病院 神経内科）

共催：一般社団法人日本血液製剤機構

招待講演

13:20 ~ 14:20

座長：神田 隆（山口大学 神経内科学講座）

「Indications and Usefulness of Nerve Biopsy」

Gérard Said（Centre Médical Bastille, France）

教育講演2

16:40 ~ 17:40

座長：千葉 厚郎（杏林大学 神経内科）

「Pathogenesis and therapeutic strategies in CIDP」

Bernd C. Kieseier（Department of Neurology, Heinrich-Heine University, Düsseldorf, Germany/
Biogen Inc., Cambridge, MA, USA）

イブニングセミナー 1 「補体と重症筋無力症」

18:10 ~ 19:10

座長：楠 進（近畿大学 神経内科）

ES1-1 補体制御療法の幕開け ～PNHをモデルに～

川口 辰哉（熊本保健科学大学 保健科学部 医学検査学科）

ES1-2 難治性全身型MGに対するソリリス（Eculizumab）の適応

今井 富裕（札幌医科大学保健医療学部 / 附属病院神経内科）

共催：アレクシオンファーマ合同会社

2018年9月7日（金）第2会場 8階 801大会議室

ランチョンセミナー 2

12:10 ~ 13:10

座長：安東由喜雄（熊本大学 脳神経内科分野）

LS2 「手根管症候群に潜む疾患の鑑別と治療

（TTR-FAP：トランスサイレチン型家族性アミロイドポリニューロパチー）」

山下 太郎（熊本大学 脳神経内科 / 熊本大学医学部附属病院 神経難病診療体制構築事業・
アミロイドーシス診療センター）

共催：ファイザー株式会社

イブニングセミナー 2 「末梢神経障害の鑑別のポイント～CIDPを中心に～」

18:10 ~ 19:10

座長：土井 一輝（小郡第一総合病院）

ES2-1 頸椎症と末梢神経障害との鑑別診断

安藤 哲朗（安城更生病院）

ES2-2 末梢神経障害の中でどのようにCIDPをみつけ診療するか

海田 賢一（防衛医科大学校 神経・抗加齢血管内科）

共催：CSL ベーリング株式会社

2018年9月8日(土) 第1会場 10階 国際会議場

シンポジウム2 「末梢神経損傷治療の課題と将来展望：神経再生メカニズムの観点から」 9:00～11:00

座長：平田 仁（名古屋大学 手の外科）
吉良 潤一（九州大学 神経内科学教室）

- SY2-1 脂質を介した炎症制御による末梢神経再生・神経障害性疼痛制御
木山 博資（名古屋大学 大学院医学系研究科 機能組織学）
- SY2-2 代謝異常に伴う神経再生障害の解析－シュワン細胞株の有用性－
新見 直子（公益財団法人東京都医学総合研究所 糖尿病性神経障害プロジェクト）
- SY2-3 iPS細胞を用いた慢性期頸髄損傷治療
鈴木 秀典（山口大学大学院医学系研究科整形外科学 / Division of Genetics and Development, Krembil Research Institute, Toronto, Canada）
- SY2-4 脱神経筋を治療ターゲットとした末梢神経損傷治療
栗本 秀（名古屋大学大学院医学系研究科 手の外科）
- SY2-5 形成外科における末梢神経損傷治療の課題と展望
～顔面神経麻痺再建と関連基礎研究を中心に～
林 礼人（順天堂大学医学部附属 浦安病院 形成外科・再建外科）
- SY2-6 前医での腕神経叢損傷再建術後の成績不良例に対する筋肉移植術による機能再建
服部 泰典（山口県厚生連小郡第一総合病院 整形外科）

特別講演

11:00～12:00

座長：楠 進（近畿大学 神経内科）

「iPS細胞と遺伝子改変霊長類を用いた神経疾患の研究」

岡野 栄之（慶應義塾大学医学部生理学教室）

ランチョンセミナー3 「ギラン・バレー症候群の予後改善に向けて」

12:10～13:10

座長：清水 優子（東京女子医科大学 脳神経内科）

- LS3-1 末梢血幹細胞移植とギラン・バレー症候群
川本 未知（神戸市立医療センター中央市民病院 神経内科）
- LS3-2 ギラン・バレー症候群の新規治療展望
三澤 園子（千葉大学大学院医学研究院 脳神経内科学）

共催：帝人ファーマ株式会社

シンポジウム3 「神経痛性筋萎縮症」

13:20 ~ 14:50

座長：加藤 博之（信州大学 整形外科（運動機能学教室））
野村 恭一（埼玉医科大学総合医療センター 神経内科）

- SY3-1 概要（疫学・症候・病態を含めて）
池田 修一（岡谷市民病院 総合診療科）
- SY3-2 神経痛性筋萎縮症の電気生理学的検査所見
関口 兼司（神戸大学大学院医学研究科神経内科学）
- SY3-3 神経痛性筋萎縮症における画像検査
澤田 智一（静岡市立静岡病院 整形外科）
- SY3-4 内科的治療アプローチ
宮本 勝一（近畿大学医学部神経内科）
- SY3-5 特発性前・後骨間神経麻痺に対する外科的治療アプローチ
加藤 博之（信州大学医学部整形外科）

シンポジウム4 「痛みの臨床」

15:00 ~ 16:30

座長：小池 春樹（名古屋大学 神経内科学）
酒井 昭典（産業医科大学 整形外科学教室）

- SY4-1 痛みの神経生理
鈴木 千恵子（青森県立中央病院 脳神経内科）
- SY4-2 痛みの神経病理
小池 春樹（名古屋大学大学院医学系研究科 神経内科）
- SY4-3 治療（内科）
上坂 義和（国家公務員共済組合連合会 虎の門病院神経内科）
- SY4-4 手根管症候群の疼痛に対する治療効果
岩月 克之（名古屋大学 手の外科）
- SY4-5 神経因性疼痛に対する機能外科的アプローチ
井本 浩哉（山口大学大学院 医学系研究科 脳神経外科）

ランチョンセミナー 4

12:10 ~ 13:10

座長：岡 伸幸（京都近衛リハビリテーション病院）

LS4 「超微形態からみたニューロパチーの病態と治療 ～CIDPの最新の話題を含めて～」

小池 春樹（名古屋大学大学院医学系研究科 神経内科）

共催：日本製薬株式会社

教育講演3 「末梢神経疾患の新しい疾患概念」

13:20 ~ 14:20

座長：高嶋 博（鹿児島大学 脳神経内科・老年病学）

金谷 文則（琉球大学 整形外科科学講座）

- 1 自己抗体陽性CIDPの臨床像および病態機序
緒方 英紀（九州大学大学院医学研究院神経内科学）
- 2 自己免疫性自律神経節障害（AAG）
中根 俊成（熊本大学大学院生命科学研究部 神経内科学 /
熊本大学医学部附属病院 分子神経治療学寄附講座）
- 3 「くびれ」を伴う末梢神経障害 —特発性前/後骨間神経麻痺とNeuralgic Amyotrophy
に着目して
越智 健介（三尾整形外科 / 額田医学生物学研究所）

2018年9月8日(土) 第3会場 9階 海峡ホール

産業医学講座

9:00 ~ 10:00

座長：松岡 雅人（東京女子医科大学 衛生学公衆衛生学（一））

「障害就労者における神経調節系の課題（障害就労工場産業医としての経験より）」

田島 文博（和歌山県立医科大学 リハビリテーション医学講座）

メディカルスタッフ・レジデント実技セミナー

10:00 ~ 12:00

座長：桑原 聡（千葉大学 神経内科学）

MSR-1 「神経伝導検査の基本原則」

幸原 伸夫（神戸市立医療センター中央市民病院 神経内科）

MSR-2 「神経伝導検査：実践」

国分 則人（獨協医科大学 神経内科）

MSR-3 「神経伝導検査：診断への流れとピットフォール」

野寺 裕之（徳島大学病院神経内科）

共催：日本光電工業株式会社

一般演題プログラム

2018年9月7日(金) 第1会場 10階 国際会議場

一般演題(口演) 1 「学会賞候補演題」

14:30 ~ 16:31

座長：神田 隆(山口大学 神経内科学講座)
池田 和夫(金沢医療センター 整形外科)

- O-01 エストラジオールが閉経後特発性手根管症候群患者の手根管内屈筋腱滑膜に与える効果
山中 芳亮(産業医科大学 医学部 整形外科)
- O-02 分化度の異なる各種シュワン細胞の末梢神経軸索再生効果の検討
遠藤 健(北海道大学大学院 医学研究院 整形外科学教室)
- O-03 POEMS症候群における化学療法の長期成績：治療終了をどう決断するか？
水地 智基(千葉大学大学院医学研究院 神経内科学)
- O-04 抗NF155抗体陽性CIDPを効率よく検出する指標の同定：暫定診断基準案に基づいた
全国調査による解析結果
緒方 英紀(九州大学大学院医学研究院 神経内科学)
- O-05 抗neurofascin155抗体陽性CIDPにおけるT細胞性免疫の寄与と免疫遺伝学的背景
因子
山崎 亮(九州大学大学院医学研究院 神経内科学)
- O-06 慢性炎症性脱髄性多発根神経炎の血液神経関門破綻におけるVEGFシグナルの関与
前田 敏彦(山口大学大学院医学系研究科 神経内科学)
- O-07 特発性前骨間神経麻痺と特発性後骨間神経麻痺の前向き多施設臨床研究(iNPS-JAPAN)
調査報告：前駆痛の特徴
越智 健介(前・後骨間神経麻痺前向き多施設研究グループ(iNPS-JAPAN))
- O-08 手根管症候群の神経伝導検査による既存の重症度分類における問題点：手根管症候群は
「感覚神経優位の障害」とは限らない
宮地 洋輔(帝京大学 医学部 神経内科/横浜市立大学 医学部 神経内科・脳卒中科)
- O-09 上位型腕神経叢損傷に対する部分尺骨神経移行術の長期成績
ー10年以上経過例の肘屈曲筋力と患者主観的機能評価ー
永野 裕介(北海道大学大学院 医学研究院 専門医学系部門 機能再生医学分野 整形外科学教室)

- O-10 女性手根管症候群におけるTTRアミロイド沈着と脂質代謝
大茂 壽久（戸畑共立病院 整形外科）
- O-11 Painful leg and moving toesを呈した阻血性の後脛骨神経不全麻痺の2例
稲田 有史（医療法人社団湧水方円会 稲田病院 / 京都大学 ウイルス・再生医科学研究所 / 奈良県立医科大学附属病院 整形外科）

2018年9月7日（金）第2会場 8階 801大会議室

一般演題（口演）2 「手根管症候群」

9:00 ~ 9:40

座長：尼子 雅敏（防衛医科大学校病院 整形外科）

- O-12 50～89歳における手根管症候群の罹患割合と関連因子：the Obuse study cohort から
橋本 瞬（信州大学 医学部 整形外科）
- O-13 MR neurography を用いた手根管症候群の重症度診断
山田 真央（防衛医科大学校病院 整形外科学講座）
- O-14 頸椎疾患の疑いで紹介となったが手根管症候群の手術が有効であった症例における鑑別についての検討
赤堀 圭一（鳥取大学 医学部附属病院 整形外科）
- O-15 手根管症候群手術患者におけるPain Visionを用いた術後予後予測
林 悠太（広島大学 整形外科）
- O-16 特発性手根管症候群における手根管開放術後2年以上経過例のアンケート調査
畑中 大介（飯田市立病院 整形外科）

一般演題（口演）3 「手根管症候群・肘部管症候群」

9:40 ~ 10:20

座長：藤原 浩芳（京都府立医科大学 整形外科）

- O-17 手根管症候群に対するステロイド注射の役割
四宮 陸雄（広島大学 医学部 整形外科）
- O-18 重度手根管症候群に対する母指対立再建術
大谷 和裕（近畿大学 医学部 整形外科）

- O-19 透析手根管症候群術後多数回再発例を如何に治療するか？－正中神経皮下移所術－
吉田 綾（取手北相馬保健医療センター医師会病院 整形外科／おくつ整形外科クリニック）
- O-20 スポーツ障害による肘部管症候群
坪川 直人（一般財団法人新潟手の外科研究所）
- O-21 超音波像とMRIによる尺骨神経断面積は肘部管症候群の診断に有用である
寺山 恭史（東京女子医科大学 整形外科／蓮田病院 整形外科）

一般演題（口演）4 「絞扼性・外傷・その他」

10:20～11:00

座長：太田 壮一（京都大学 整形外科学）

- O-22 絞扼性末梢神経障害と腰椎周辺疾患が患者QOLへ及ぼす影響に関する研究
國保 倫子（日本医科大学 千葉北総病院 脳神経センター）
- O-23 上肢下垂位で症状を有する胸郭出口症候群患者における肋鎖間隙の検討
－腕神経叢造影Dynamic 3DCTを用いて－
高松 聖仁（淀川キリスト教病院整形外科）
- O-24 アメリカンフットボールで受傷した肩関節脱臼を伴わない腋窩神経断裂の一例
川野 健一（東京都立 広尾病院 整形外科）
- O-25 外傷性末梢神経損傷に対する塩基性線維芽細胞増殖因子の有効性の検討
有泉 高晴（東京歯科大学 口腔顎顔面外科学講座）
- O-26 非外傷性橈骨神経麻痺の自然経過
太田 壮一（京都大学 医学部 整形外科）

一般演題（口演）5 「基礎研究」

14:30～15:18

座長：栗本 秀（名古屋大学 手の外科）

- O-27 頸髄損傷患者に対する皮膚交感神経機能の測定
中田 朋紀（和歌山県立医科大学 医学部 医学科 リハビリテーション医学教室）
- O-28 血管柄付神経移植術の基礎研究
吉田 周平（広島大学病院国際リンパ浮腫治療センター）
- O-29 骨髄間葉系細胞及び同種基底膜移植により作成した人工神経鞘に関する研究
田中 寛樹（近畿大学 医学部 整形外科学教室）

- O-30 人工神経を用いた有痛性断端神経腫の治療
ーラット断端神経腫モデルによる実験的研究ー
斧出 絵麻（大阪市立大学大学院医学研究科 整形外科）
- O-31 メチルコバラミン含有局所徐放ナノファイバーシートはラット坐骨神経欠損モデルに対する神経再生誘導チューブ移植後の神経再生を促進する
佐柳 潤一（大阪大学大学院 医学系研究科 器官制御外科学講座）
- O-32 線維芽細胞から転換したシュワン細胞の末梢神経損傷部位への移植効果の検討
素輪 善弘（京都府立医科大学 形成外科）

一般演題（口演）6 「代謝性ニューロパチー」

15:18 ~ 15:58

座長：三澤 園子（千葉大学 脳神経内科学）

- O-33 糖尿病患者でみられる末梢神経障害度の現状
長谷川 修（横浜市立大学 市民総合医療センター）
- O-34 DPNCheck[®]で測定した腓腹神経伝導パラメータの日本人基準値の設定
ー糖尿病神経障害診断における有用性ー
平康 雄大（和歌山県立医科大学附属病院 紀北分院 中央検査室）
- O-35 重症TIND（糖尿病治療誘発性神経障害）の予後に関する検討
出口 尚寿（鹿児島大学大学院医歯学総合研究科糖尿病・内分泌内科学 /
鹿児島大学大学院医歯学総合研究科脳神経内科・老年病学）
- O-36 キサンチンオキシドレダクターゼの阻害により糖尿病性神経障害は改善する
高橋 和久（弘前大学大学院 医学研究科 分子病態病理 /
弘前大学 医学部 附属病院 内分泌代謝内科）
- O-37 ビタミンB12欠乏性神経障害の臨床生理検査の特徴
畑中 裕己（帝京大学医学部附属病院 脳神経内科）

一般演題（口演）7 「その他のニューロパチー」

15:58 ~ 16:22

座長：宮本 勝一（近畿大学 神経内科）

- O-38 演題取り下げ
- O-39 味覚異常で発症したFacial onset sensory motor neuronopathy (FOSMN) の一例
沼波 仁（信州大学第3内科（脳神経内科 リウマチ・膠原病内科））

- O-40 下肢CRPS様症状を呈した破格筋による後脛骨神経不全麻痺の2例
萩原 祐介（医療法人社団湧水方円会 稲田病院 / 奈良県立医科大学附属病院 整形外科）
- O-41 指神経グロムス腫瘍の1例
篠原 孝明（大同病院 手外科・マイクロサージャリーセンター）

2018年9月8日（土）第2会場 8階 801大会議室

一般演題（口演）8 「ギラン・バレー症候群」

9:00 ~ 9:48

座長：海田 賢一（防衛医科大学校 内科学（神経・抗加齢血管内科））

- O-42 ギラン・バレー症候群患者由来の免疫グロブリンGは血液神経関門を破綻させる
清水 文崇（山口大学大学院 医学系研究科 神経内科学）
- O-43 Guillain-Barré症候群におけるリンパ球サブセットの検討
杉本 恒平（埼玉医科大学総合医療センター 神経内科）
- O-44 GD1a/GT1a複合体抗体単独陽性の純粋運動型Guillain-Barré症候群の1例：症例報告とGD1a/GT1a分子間相互作用の検討
千葉 厚郎（杏林大学 医学部 神経内科）
- O-45 Fisher症候群とFS/GBSオーバーラップ症候群の横隔神経M波の比較検討
成川 真也（埼玉医科大学総合医療センター 神経内科）
- O-46 本邦のGuillain-Barré syndromeにおける抗糖脂質抗体と予後および予後予測ツールの関連－後方視的多施設共同研究
山岸 裕子（近畿大学 医学部 神経内科）
- O-47 ギラン・バレー症候群における低アルブミン血症と重症度、運動機能の短期予後との関連性
王子 聡（埼玉医科大学 総合医療センター 神経内科）

一般演題（口演）9 「CIDP/多巣性運動ニューロパチーなど」

9:48 ~ 10:20

座長：山崎 亮（九州大学 神経内科学教室）

- O-48 IVIG抵抗性CIDPの臨床的および血清学的解析
松井 太郎（近畿大学医学部 神経内科 / 防衛医科大学校 神経・抗加齢血管内科）

- O-49 膜性腎症を伴うCIDPにおける抗paranode、抗podocyte抗体、並びに抗contactin1抗体陽性CIDPとの病像の比較
橋本 侑 (JCHO 九州病院 神経内科)
- O-50 慢性炎症性脱髄性多発根ニューロパチーの神経終末軸索興奮性評価
網野 寛 (千葉大学大学院医学研究院神経内科学)
- O-51 神経超音波検査における正中神経上腕部の神経腫大が診断に有用であった多巣性運動ニューロパチーの1例
関口 兼司 (神戸大学 医学部 神経内科)

一般演題 (口演) 10 「アミロイドニューロパチー」

14:30 ~ 15:02

座長：関島 良樹 (信州大学 リウマチ・膠原病内科 (第三内科))

- O-52 CIDPと誤解釈されうるATTR-FAPの電気生理学的ピットフォール
大橋 信彦 (信州大学第三内科 脳神経内科 リウマチ・膠原病内科)
- O-53 医原性トランスサイレチンアミロイドニューロパチーにおける末梢神経障害の病態解析
増田 曜章 (熊本大学 大学院生命科学研究部 神経内科学分野)
- O-54 家族性アミロイドポリニューロパチーTTR E61Kの神経変性機序の研究：アミロイド凝集能の検討
村上 龍文 (川崎医科大学 神経内科)
- O-55 全国疫学調査を基にした家族性アミロイドポリニューロパチーの実態解明
植田 光晴 (熊本大学 医学部附属病院 神経内科)

一般演題 (口演) 11 「CMT」

15:02 ~ 15:34

座長：村上 龍文 (川崎医科大学 神経内科学教室)

- O-56 成人Charcot-Marie-Tooth 病患者の臨床的特徴についての検討
能登 祐一 (京都府立医科大学大学院 医学研究科 神経内科学)
- O-57 COA7は小脳失調を伴う軸索型ニューロパチーの新規原因遺伝子である
樋口雄二郎 (鹿児島大学病院 神経内科)
- O-58 IVIgが奏効したCMTX1の1例
青木 怜佳 (獨協医科大学 神経内科)

- O-59 AR-SACSにおける末梢神経障害の臨床的電気生理学的特徴
橋口 昭大（鹿児島大学 医歯学総合研究科 神経内科・老年病学）

一般演題（口演）12 「電気生理・画像」

15:34 ~ 16:06

座長：国分 則人（獨協医科大学 神経内科）

- O-60 Bickerstaff脳幹脳炎の誘発電位による早期診断
神谷 久雄（帝京大学 医学部 神経内科）
- O-61 表皮内選択的痛覚刺激誘発脳電位による神経障害性疼痛の定量化
磯瀬沙希里（国立病院機構 千葉東病院 神経内科）
- O-62 多巣性運動ニューロパチーの筋超音波検査 による fasciculation の分布評価
辻 有希子（京都府立医科大学大学院 医学研究科 神経内科学）
- O-63 手根管症候群における指神経刺激後の正中神経活動磁界計測
佐々木 亨（東京医科歯科大学大学院 整形外科学）

一般演題（口演）13 「手術」

16:06 ~ 16:30

座長：山本 真一（横浜労災病院 手・末梢神経外科）

- O-64 血管柄付組織移植術を用いたCRPS（complex regional pain syndrome）の外科的治療
吉田 周平（広島大学病院国際リンパ浮腫治療センター）
- O-65 橈骨神経本幹のくびれに対し神経束間剥離を行った1例
原 由紀則（都立広尾病院 整形外科・末梢神経外科）
- O-66 高位尺骨神経欠損に対して神経移植および前骨間神経端側縫合による神経移行術の併用を行った1例
澤田 智一（静岡市立静岡病院 整形外科）

一般演題 (ポスター)

奇数番号 16:00 ~ 17:00 / 偶数番号 17:00 ~ 18:00

- P-01 好酸球性多発血管炎性肉芽腫症81例の臨床病理学的検討
ー好酸球が関連した組織障害とANCAが関連した血管障害ー
仁紫 了爾 (名古屋大学 神経内科)
- P-02 血清IgG4高値を認めたANCA関連血管炎に伴うニューロパチーの1例
富田 稔 (豊田厚生病院 神経内科)
- P-03 内鞘内に好酸球浸潤を認めた好酸球性多発血管炎性肉芽腫症の1例
竹内啓喜啓 (国立病院機構 南京都病院 神経内科)
- P-04 シェーグレン症候群に伴うニューロパチーの臨床病理学的検討
小阪 崇幸 (熊本大学大学院生命科学研究部 神経内科学分野)
- P-05 振動工具の取り扱いによる末梢神経への影響
大成 圭子 (産業医科大学 医学部 神経内科)
- P-06 悪性リンパ腫と末梢神経障害の臨床病理学的検討
鈴木 美紀 (東京女子医科大学 神経内科)
- P-07 オニオンバルブ陽性の末梢神経病変を合併した脳脊髄血管内リンパ腫の一例
深見 祐樹 (名古屋大学 神経内科 / 刈谷豊田総合病院 神経内科)
- P-08 AMNSパターンを示したCIDPおよび抗MAG抗体陽性ニューロパチーの2例
田中信一郎 (独立行政法人 国立病院機構 関門医療センター 神経内科)
- P-09 CIDPにおける病型別臨床病理の検討
池田 昇平 (名古屋大学大学院 医学系研究科 神経内科 / 刈谷豊田総合病院 神経内科)
- P-10 慢性炎症性脱髄性多発神経炎 (CIDP) における免疫グロブリン維持療法
大山 健 (豊橋市民病院 神経内科)
- P-11 三叉神経の著明な瘤状肥厚をみとめた multifocal acquired demyelinating sensory and motor neuropathy (MADSAM) の1例
桑原 基 (近畿大学 医学部 神経内科)
- P-12 再生不良性貧血の経過中に慢性炎症性脱髄性多発神経炎を合併した60歳代女性例
安部 真彰 (JCHO 徳山中央病院 神経内科)

- P-13 発熱を契機に発症し解熱とともに緩解する多巣性ニューロパチーの57歳女性
堀内 碧（防衛医科大学校病院 神経・抗加齢血管内科）
- P-14 Seronegative Guillain-Barré症候群におけるCa²⁺依存性抗ガングリオシド抗体
内堀 歩（杏林大学 医学部 神経内科）
- P-15 Marginal facial diplegia and paresthesiasと考えられた一例
齋藤 和幸（日産厚生会 玉川病院 脳神経内科）
- P-16 ギラン・バレー症候群とクラミドフィラ肺炎
古賀 道明（山口大学大学院 医学系研究科 神経内科学）
- P-17 Guillain-Barré症候群とFisher症候群における瞬目反射
石塚 慶太（埼玉医科大学総合医療センター 神経内科）
- P-18 発症初期に感覚神経活動電位（SNAP）が消失したsensory Guillain-Barré syndrome
の一例
渡部 俊介（神戸大学 大学院 医学研究科 神経内科学）
- P-19 腎機能障害を背景に感覚性自律性ニューロパチーを発症し、その後ギラン・バレー症候
群様の筋力低下をきたした一例
佐木山裕史（独立行政法人 国立病院機構 刀根山病院 神経内科）
- P-20 腓腹神経ときぼぐし標本の傍絞輪部間距離の検討
佐藤 亮太（山口大学 大学院 医学系研究科 神経内科学）
- P-21 MRIで単一根の頸椎症性神経根症と診断された症例を用いてのC5・C6・C7筋節支配
の検討
古川 裕一（帝京大学 医学部 神経内科）
- P-22 しびれを伴う糖尿病性神経障害は、重症の神経障害があるといえるのか？
鈴木千恵子（青森県立中央病院 脳神経内科）
- P-23 急性発症の糖尿病性神経叢障害の2例
喜多也寸志（兵庫県立姫路循環器病センター 神経内科）
- P-24 腫瘍性神経叢障害における電気生理学的検査の有用性
阿部 剛典（中村記念病院）
- P-25 手術手袋を用いて末梢神経障害予防に取り組んだ乳がん患者1症例の振り返り
奥山 博美（市立 ひらかた病院 外来）

- P-26 外傷後の上肢神経障害性疼痛に対する脊髄神経刺激療法の効果の検討
大岩 彩乃（東邦大学医療センター 大森病院 麻酔科）
- P-27 マウス坐骨神経慢性圧迫モデルに対するノイロトロピン®の治療効果について
岩橋 徹（大阪大学 大学院 医学系研究科 器官制御外科学（整形外科））
- P-28 実験的自己免疫性神経炎におけるphosphodiesterase阻害効果の比較
藤岡 俊樹（東邦大学 医学部 内科学講座 神経内科学分野 /
東邦大学大学院 医学研究科 神経内科学）
- P-29 Cells alive system（CAS）による神経冷凍保存
ー最適な凍結プログラムの開発 第二報ー
橋本 智久（獨協医科大学埼玉医療センター整形外科）
- P-30 上腕部中心静脈ポートによる内側前腕皮神経障害の経験 ～超音波での評価～
阿部 理奈（宮城厚生協会 長町病院 リハビリテーション科）

2018年9月7日（金）ポスター会場2 8階 804会議室

一般演題（ポスター）

奇数番号 16:00～17:00 / 偶数番号 17:00～18:00

- P-31 ラット顔面神経麻痺モデルを用いたドナー犠牲の少ない神経再建法の開発
上原 幸（大分大学 医学部附属病院 形成外科）
- P-32 橈骨遠位端骨折プレート固定後の方形回内筋と長母指屈筋のCMAPの検討
高井 一志（三豊総合病院企業団 リハビリテーション科）
- P-33 尺骨神経麻痺と診断し経過観察を行い麻痺が進行した腕神経叢神経鞘腫の2例
澁谷純一郎（山形大学 整形外科学講座）
- P-34 腕神経叢節前損傷に対する神経移行術および広背筋移行術による肩・肘機能再建の経験
上妻隆太郎（国立病院機構 関門医療センター）
- P-35 肘部腫瘍性病変に伴う末梢神経麻痺の2例
山本 真一（横浜労災病院 手・末梢神経外科）
- P-36 医原性副神経損傷の1例
近藤 晋哉（防衛医科大学校 整形外科学講座）

- P-37 後骨間神経麻痺およびその類似疾患についての検討
五十棲秀幸（小牧市民病院 整形外科）
- P-38 演題取り下げ
- P-39 膝複合靱帯損傷に合併した総腓骨神経断裂の一例
松田 匡司（金沢大学附属病院 整形外科）
- P-40 上腕部での癒着が原因になった高位尺骨神経麻痺の1例
森崎 真介（済生会滋賀県病院 整形外科）
- P-41 エアバッグによる小児の外傷性腕神経叢麻痺の一例
金谷 耕平（JR 札幌病院 整形外科）
- P-42 前腕部正中神経部分損傷を疑って手術を行った正中神経高位分岐の1例
山中 清孝（大阪市立総合医療センター 整形外科）
- P-43 多発性神経鞘腫の治療経験
伊原公一郎（国立病院機構 関門医療センター 整形外科）
- P-44 指神経に発生した fibrolipomatous hamartoma の1例
中田 美香（金沢大学附属病院 整形外科）
- P-45 遠位型の頸椎症性筋萎縮症と診断した6例の臨床像について
多田 薫（金沢大学 整形外科）
- P-46 HALにより歩行障害の改善を認めた Charcot-Marie-Tooth 病の2例
橋本 里奈（国立病院機構 東名古屋病院 神経内科）